臺灣總督府
臨時情報部

部報

昭和十四年一月一日

新年の辭（臺灣總督）
新年の頭の辭（總務長官）
新東亞の建設（臨時情報部）
地方情報（州・廳臨時情報部）
海外情報（臨時情報部）
華僑情報（臨時情報部）

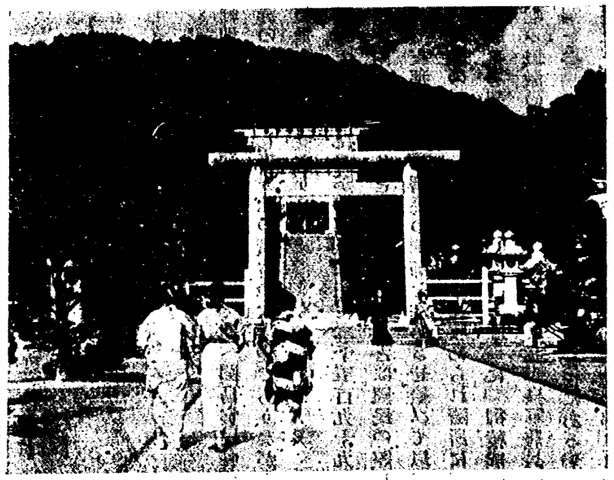
第四十八號

昭和十二年九月二十日第三種郵便物
昭和十四年一月一日（毎月一日、十一日、廿一日發行）

附錄
事變日誌
臺灣時局日誌

アジア歴史資料センター

戰勝第二の春



東亞新秩序の建設

堅忍持久！

戰勝第二の春昭和十四年元旦に當り、午前十時「國民奉祝の時間」を期し恭しく宮城遙拜を致し盡忠報國の念を新にす。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

新年の辭

小林臺灣總督

乾坤一轉茲に昭和十四年の新春を迎へ國島官民各位と共に恭しく東天を拜して遙かに聖壽の萬歳を頌し奉り此の曠古の大事變でありながら悉なく新年を壽ぎ奉る喜びに天地自ら明朗を覺ゆる次第であります。

瞳みて按ずるに我が建國以來正に二千五百九十九年　寶祚彌々榮え國運益々隆昌にして旭日將に宇内を光被せんとするの勢あることは國民の等しく欣喜に堪へざるところであります。殊に隣疆支那に向つて膺懲の聖師を進めさせ給ひて以來連戰連勝今や廣東、武漢三鎭の攻略成り支那大陸の要域は殆んど我が手中に收められ隨所に親日政權の樹立を見るなど世界戰史上未曾有の戰果を擧ぐるに至りましたことは一に　御稜威の然らしむるところでありまして我等國民は唯々感激の外はありません同時に又我が皇軍將兵の常に勇戰力鬪克く困苦缺乏に堪へ皇國の精華を發揚せられつゝあることは吾々銃後にある者の衷心感謝の意を表する所であります。茲に新年を迎ふるに當り此の聖戰に尊き犧牲を拂はれました御家庭に對し厚く御見舞申上ぐると共に出征從軍者を出されてゐる御家庭に對しては共に其の武運長久を祈る次第であります。

日申す迄もなく今次聖戰の窮極の目的たる日滿支相提携し東亞永遠の安定を確保する爲には前途尚幾多の難關あるを覺悟せねばなりません。我等銃後にある者眞に戰線に立ちたる氣持を以て絶えず不拔の意氣を振起し協心戮力聖命の努力を續け時艱を克服し以て曠古の聖業を翼贊し奉らねばならぬと存ずるのであります。

顧つて本島は改隸以來茲に四十五年歴朝聖德の廣大無邊なる一視同仁の大御心に依りまして文物制度年を追うて改まり民度太に進み殊に今次事變以來敵地と一葦帶水に在る本島島民が安堵其の生に安んずることが出來るのは是全く聖恩の賜物に外ありません。之を戰禍に疲弊困憊せる支那民衆の生活に比較致します時實に感慨深きものがあります而して本島は軍の南支作戰進展と相俟つて南支建設の要地として一層深く其の重要性を加へ來つたのでありまして此の南支への進展こそ島民の眼前に展開せられたる一大責務であります。我等島民は此の榮譽ある重大時局の分擔者として飽く迄其の使命を全うすべきを自覺し擧島一致萬難を排し之が達成に邁進し以て皇恩の萬一に酬い奉らねばならぬと存ずるのであります。

茲に二たび事變下の新年を迎ふるに當り全島官民各位の幸福を祈り清新なる意氣を以て一致協力我等の務を果したいものと存ずる次第であります。

年頭の辭

總務長官森岡二朗

茲に戰捷の新年を迎へ遙かに東天を拜して恭しく　聖壽の萬歳を唱へ奉り併せて國運の隆昌を祈念致しますることは寔に目出度き限りであります。

畏くも皇室に於かせられましては竹の園生の御榮彌繁く　天皇陛下には玉體愈々御健やかに亘らせ給ひ日夜國務に御精勵遊ばさるる趣を拜し國民齊しく恐懼感激に堪へない次第であります又各皇族方に於かぜられましても金枝玉葉の御身を以て或は戰地に成らせられて將兵と困苦を共にし給ひ或は銃後に在らせられて軍事に慰問に援護にと國民の上に範を垂れさせ給ふことを洵に難有き極みであります。

今や支那事變勃發以來既に一年有半我帝國は堂々大陸に兵を進めて有史以來の大聖業に邁進致して居るのでありますこの聖戰の目的は更めて説明を要しない所でありますが去る十一月三日の帝國政府聲明にも特に「帝國の欲求する所は東亞永遠の安定を確保すべき新秩序の建設に在り今次聖戰窮極の目的又ここに存す」とありますが如く帝國の眞目的は洵に聖く崇き東亞の

新秩序建設に在るのでありましてこれぞ來るべき皇紀二千六百年を飾る無形の金字塔なりと見るべきであります。

我臺灣に於きましては事變勃發以來島民が克く時局の眞相を認識致しまして帝國の一環として臺灣の特色を十分に發揮して居りますことは眞に力强き限りであります。之を經濟方面に就て見ましても一例を申せば昨年六月より行はれて居ります金の賣却運動の如き去る十一月末現在既に三千五百萬圓の巨額に達し、事變國債貯蓄債券の賣出に致しましても常に割當額の尠きを憾む狀況であります。納稅狀態の如きも最近著しく其の成績が向上し昨年下半期の戶稅の如きは各地方共大概納期數日前に完納するといふ未曾有の成績を示して居るのであります。又精神的方面に於きましても事變以來特に强調せられて居る皇民化促進運動の如き當局の指導と相呼應して或は宗教に或は國語普及に著しき改善進歩の跡を示して居りますことは眞に喜びに堪へない所であります。

本島は地理的、歷史的に南支南洋と密接なる關係を有し今日迄帝國南方發展の據點として國防上、産業上重要なる貢獻を致して來たのでありますが時局は進展して茲に東亞新秩序建設の段階に入つたのであります即ち日、滿、支を打つて一丸とした政治、經濟、思想、文化の新體制樹立の時機に到達したのであります今日こそ全島六百萬島民が協力一致この地の利と人の和とを以て長期建設の聖業達成に全力を獻ぐべき覺悟を新にすべき秋であると信ずるのであります。

畏くも勅題「朝陽映島」と仰出されてあります　聖慮の程を拜察し奉るも恐れ多いことであります。旭光燦々として南方の島々にも映じ皇室の御光威と御仁德がこの島の上にも齊しく蒙ひ及ぶ難有い大御心を拜し奉る感激一入新なるものがあるのであります。この感激こそ日本國民のみが持得る矜であり如何なる困難に遭遇するとも斷じてこれを斥くる大精神となるのであります。我々はこの大精神を以て島一致南方銃後の護りに任じ事變目的の達成に邁進せんことを期する次第であります。

茲に意義ある昭和十四年の新春を迎へ所懷の一端を披瀝して以て年頭の辭と致します。

新東亞の建設

臨時情報部

昨年十月十二日未明精悍無比な皇軍は突如として南支バイヤス灣を奇襲、何等の抵抗を受くることと無く上陸し恰も疾風の枯葉を捲くが如く旬日を要せずして南支抗日の策源地、蔣政權に殘されし唯一の海港廣東を陷落させた。續いて同月二十七日には蔣介石一黨が斷乎死守すると久しく豪語したねた武漢三鎮も落城の哀れをとどめてしまつた。これで蔣政權は愈々名實共に地方政權の境遇に落ちて國際信用を失ひその軍隊も士氣全く沮喪し、從來蔣政權を極力支持して來た南洋華僑も敗將余漢謀の責任を問ひ、その處斷を蔣介石に要求し又は救國献金の送附を躊躇する樣になつたのである。殊にこれ迄蔣政權が辛じて中央政府らしい體裁を維持して來た交通體系が一朝にして四分五裂してしまひ最後に殘されてゐた香港、廣東、武漢を結ぶ武器補給の一大動脈が完全に切斷されてしまつたのである。今後揚子江以北の支那軍は南からの武器兵糧の途が斷たれ蘭州から新疆省の廸化(ウルムチ)に出で廸化より鐵道でソ聯に繋がる所謂新疆赤化ルートに依るより外に道がないのであるがこの廸化蘭州ルートは極めて不完全なトラック道路であつて到底粵漢線の樣な輸送力はない。

又他方敗殘の蔣介石軍は次第に湖南省南部から貴州雲南西省方面に落ち延びんとする形勢を取つて居るのであるが彼等に對する現在の武器補給路は、一は佛領印度支那の海防から雲南省昆明に通ずる途であり、他の一は英領ビルマのラングーンから昆明に通ずる途である。昆明といふ處は海拔六千七百呎、人口約八萬雲南省第一の都會であり、恐らく蔣政權最後の據點となるであらう。

又彼等は連戰連敗の事實に徴し正規戰によつては全く手も足も出ない慘めな敗北を喫するを自覺し窮餘の逃口上として「支那はゲリラ戰術によつて日本を奔命に疲れさせ經濟的に自滅させるのだ」といふようなことを宣傳して居るのであるが、このゲリラ戰術とは大兵團の主力戰を避け小部隊に分れて山地帶などに逃げ込み匪賊の樣に出沒しては兵站線を襲うたり、後方攪亂をやつたりする厄介なものであるが、此の戰術は軍事專門家の言を俟つ迄もなく何等戰局を支配し勝敗を左右する力を有するものではない。彼等は何處までも戰線を出來るだけ擴げて我が軍の隙間を狙ひ、戰局を永引かせ日本軍と日本國民の精神力や經濟力を疲れさせて第三國の乘ずる機會を作らうと云ふ魂膽であり歐米諸國中には滑稽にもこのゲリラ戰術に期待をかけてゐるものもあるのである。況や金力と思想の武器を以て世界支配の陰謀を行ひつゝあるユダヤ民族の使嗾下にあるソ聯の共產主義及び英國の資本主義は共に深く、支那に浸潤してゐる蔣介石が之等の支援を賴んで抗日に狂奔し續けてゐるのでその意味に於ては廣東漢口は落ちても戰爭はこれからだと云つても過言ではないのである。

併しながら我國としては徹底的に抗日政權を撲滅して再び支那大陸に抗日などの起り得ぬやうにしなければ百萬の大君の子等を大陸の戰場に送り殊に今日迄拂つて來た少からぬ貴い犧牲の意味がなくなるのである。又支那を外國の資本主義的搾取植民地的經營の對象から解放しなければ必ず將來重ねて支那を舞臺とし東亞に、今回の如き悲劇を繰返す原因となるであらう。若し東亞に日本と云ふ國が無かつたと假定するならば今頃東亞の運命はどうなつてゐるであらうか、天意か唯一つ日本と云ふ國がありこゝに東亞民族の血液と文化とが集つて優秀なる民族國家を形成し三千年の歷史と獨特の國民精神てふ傳統の下に明治維新を斷行し專ら力を養つて全東亞の衞兵たる役目を果すに至つたからこそ東亞は列强の植民的帝國主義の餌食たる運命を免れ得たのであり又この植民的帝國主義が今次事變の原因となる事は何人も之を否定することは出來ない。

御稜威の下皇軍の輝しき力戰によつて茲に東亞の新秩序建設の鎚音が響いた。東亞の新秩序、之を支那から見れば排日抗日支那の清算であり聯ソ容共支那の清算であり、列國の植民地としての奴隷としての支那の清算であり、我國から見れば支那は今や敵對競爭關係にある外國ではなくして日滿支三國の緊密なる經濟ブロックの一環であり、東亞防共陣營の一友邦なのである。

六億に近い日滿支三國民が東亞一家の關係に於て提携するには先づ政治方面と經濟方面とが考へられる。支那には北京に臨時政府、南京に維新政府、蒙疆に蒙疆聯合委員會が出來廣東に於ても早くも治安維持會の成立を見たのである。

これ等各政權の間に如何なる內部構造が作られるにしても日滿支一環の政治、經濟ブロックが結成されることに疑ひはない。即ち前述の如く政治的には東亞防共陣營の完成である。六億

近くの人口と尨大なる資源の上には如何なる野心國の容喙を許さない全東亞の國防力が成り立つのである。經濟的には有無相通依存による共存同榮である。歐米諸國の世界政策は强食弱肉――即ち「强きは弱き者の肉を喰ふ」の概念で成り立ち從つて世界の弱小民族には搾取の原則を以つて臨むが吾人の組織は恰もガンヂスの岸からあらゆる財寶を吸ひ上げて之をテームスの岸に綾り出す海綿の如きである」とは印度領有後、印度經營の當事者が英國下院で試みた言明の一句である。歐米の武器製造會社の資本家重役等は世界の何處かに戰爭の無い年を不景氣の年と呼び新聞や通信を買收し間諜を放つて國際的に紛爭の種子を撒き列國を軍備競爭に狩り立てゝ利得を逞しうしてゐるのだが無智なる支那要人は彼等の毒牙にかゝもこい十數年の間抗日の夢を描いたばかりに自國の利權を代償とし自國人民の膏血を絞つては武器の購入に注ぎ込み之等外國の武器會社とその政府の利益に奉仕するの愚を演じ續けた。而して得たるものは支那自國の荒廢と東亞の疲弊とのみ、此の荒廢を收拾して新秩序の建設をするものが日本の指導援助と擡げられた支那民衆であると云ふに至つては抗日黨人の罪、眞に大なりと云はねばならぬ。來たるべき日滿支經濟ブロックは斯くの如き搾取の原則によるに非ずして相互に相手國民の利益の中に自國民の利益を認め共に一家の如く福祉を頒ち合はんとする相互扶助、共存同榮の道義的原則でなければならぬ。故に日本はまづ滿洲と共に支那を富ませねばならぬ。支那を富ませるには支那に最も缺ぐる所の資本力、技術力を以て支那の無限に豐富なる勞力と併せ、その地下に地表に眠る資源を開發する。黃河をはじめ河川の治水を行ひ荒蕪地を拓き棉花の增

産を期する。既にそれらの事業は我が對支國策會社の計劃しつゝある所であるが之等の事業着手、進行によつてそこに何が生るゝか。即ち支那民衆の生活の安定向上と富の增加であり、我が工業原料難の緩和であり我が工業製品に對する購買力の創造であり、東亞全體の安危を衝るための日本國防力の高度化である。資源に惠まれなかつた日本と資源あつて開發の能力を有せなかつた支那とが一體となる所に新しい東洋が建設せられるのである。

支那の資源は取りとめもなく大きいがまづ視野を北支五省だけに止めても、黑ダイヤと稱せらるゝ石炭の埋藏量が千三百數十億噸で全支埋藏量の半分以上、滿洲國の十三倍、我が國の七倍位に當る。にも拘らず從來資本、技術運輸機關等の貧弱で年產僅に千四百萬噸程度に過ぎず それでも全支出炭量の七割であつたといふから以て支那產業の不振が解るであらう。有名な山西省の大同炭は昨夏頃から內地に積出されてゐるが、鐵道が惡いために單價が高くつくから專用鐵道の敷設が先づ必要とせられてゐる。

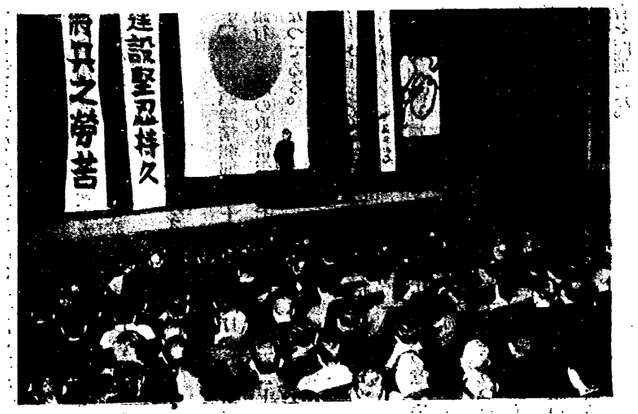
鐵鑛の埋藏量は一億七千八百萬噸と推定されてゐるが之も舊式な採掘で開發は十分に行はれてゐないだけに將來性は大きいと言はねばならぬ。棉花は河北、山東、山西の三省だけで三百萬乃至四百萬擔を產し羊毛も蒙疆を中心に五十萬擔內外と云はれ、二つとも我が國の消費量の幾割にも當らないが我が國の指導の下に品種の改良と增產とを圖れば將來は大したものとならう。油田も山西の隣の陝西省に相當なものがあるといふ話であるがまだ共產軍などの占據地區であるだけに正確な數字が分らない。一方我が國の資源を見ると、如何に惠れないかが分る。

平時の狀態に於て棉花と羊毛——卽ち國民の衣服原料でその中には製品にして外國に賣出す分も多いが年十億圓以上も買つて居る。鐵と鐵鑛が約二億圓、ガソリン等の鑛油が一億八千萬圓、石炭五千萬圓、パルプ六千七百萬圓、銅、眞鑄其他各種金屬約一億二千九百萬圓、皮革類三千萬圓、豆類八千三百萬圓、肥料一億三千八百萬圓、生ゴム五千三百萬圓と云ふ具合でまた外にも種々ある。然るにこれら日本工業の重要原料の中ゴムとか石油とか金屬の或る種類とか全然無いものや未知數のものは別として滿洲から支那にかけて今後の開發に從ひ次第に豐富なものが增產されることゝなれば何うなるか。それはブロック以外の外國から買入れる必要が減つて來ることである。我國はこれまで主として棉花は米國、英領印度から、羊毛は濠洲、南阿聯邦、アルゼンチンから鑛油類は米國、蘭領印度からといふ風に遠い所から買つて居たが、假りに將來大戰爭が起ることがあるとしてもこれらの物を供給して居た相手國と敵味方に分れるとか、或はその海上の輸送船を敵に脅威されるやうな場合は、國民は早速物の飢饉に遭遇せねばならずこんな不安な事はない。所が英國などは日本工業の廉價良品の正しい競爭が出來ずそのブロック內に關稅の鐵條網を張りめぐらし、日本品を入れまいとして屢々悶着を起した事があり日本國民は必需品輸入の爲にそれをも我慢して來たのである。素より日滿支ブロックで今直ちに重要原料の自給が出來るものではないが、今後資源の調査と開發の努力によつてだん〳〵と自給自足の域に近づくことは疑ひない。日滿支は各一國を以て到底自給自足は不可能であるが三國合せて一つの經濟單位となれば自給自足の條件が非常によくなりこれが支那事變の大希望大光明である。これは日滿支三國民が各々己れの持つてゐる物、資本、技術、原料、勞力等を互に出し合つて共に經濟の發展を圖り、共に其の結果を分配するのである。一方が他方を搾る關係でなくして前述の通り共存同榮の關係である。かくして三國內に「物」が非常に豐富になる。此の「物」を基礎として如何なる國をも敢て恐れないだけの高度の國防も出來上れば大きな文化も發育する。優秀なる文化はシベリヤやサハラ砂漠の樣な物の貧しい所に育つものではなく東西の古代文化はまづ北緯三十度から四十度の農產豐かなる溫帶地域に起つて居る。アジアに生れた文化の本流は佛敎でも儒敎でもそれが日本に流れ入つて更に醇化され歐洲文化は時には弊害もあるが結局日本獨自の精神によつて之を淨化し歐亞の二大文化を巧みに選り分け取り合して渾然たるものに造り直すことに日本國民は成功して來た、文藝、美術、敎學をはじめ一切の自然科學文化科學の各範疇に亘つてもはや日本文化は世界最高の水準に達して居る。我々は此の文化の種子を東亞の土地に蒔きつけ、これに肥料を給して繚爛たる新東洋文化の花園とせねばならぬ。支那事變が兵力戰を續けつゝある時或は兵力戰が終つて後の建設は主として經濟と文化の二部門である。經濟は物を豐富にし文化は心を豐かにする。もし日本國民が物を豐かにすることには成功しても支那民衆の心を豐かになし得なかつたとしたら大陸經營に失敗の跡を遺すかも知れぬ。更に今次事變の結末は愈々我國とソ聯との對立は益々直接的なものとなり英佛との利害關係も益々微妙なものとなるを免れない。明日の外蒙古は恐らく赤い嵐が荒れるであらう、南支那海の波も騷ぐであらう國家の前途に現はれた數々の試練に想を致すとき日本人よ立て、東亞新秩序の完成に邁進せよと叫ばざるを得ない。

地方情報

「明け行く厦門」初上映

本府情報部の作製に係る「明け行く厦門」の映畫は情報部の應援の下に臺日新聞社主催にて島都三十萬市民歡呼裡に去る十九日公會堂に於て初公開された。當日は開會前より會衆多數が詰めかけ文字通の盛況にして上田臺日企劃部長が挨拶を述べ次いで本府情報部大塚事務官は壇上に立ち「東亞新秩序の建設」と題し武漢三鎮並に廣東陥落後、一地方政權に墮した國民政府の窮況を暴露した上、交通動脈を絶たれた國民政府が今後北は赤色ルートに依り南は佛印より活路を求めねばならない狀態を指摘し更に本事變を契機として東亞に出現した新秩序に關し經濟的に思想的に種々と蘊蓄を傾けて解説した後東亞新秩序建設の成功は獨り更生支那の成功であるばかりでなく日本の成功であると同樣に若しこの建設に失敗すればそれは支那の滅亡であると同時に日本の潰滅を意味するから國民は戰爭に勝つ上に更に如何なる辛苦に堪へてもこの「建設に打ち勝たねばならない」との旨を强調して萬雷の如き拍手を浴びて降壇、續いて壇上に現れた前厦門特別委員長竹藤峰治氏は「最近に於ける厦門事情」と題し新生厦門の位置及び人口を精細に說き古個後に於ける厦門の一般事情に付一々例を引いて說明した上厦門と南洋華僑との密接な關係に言及し最後に今後に於ける經濟的動向に關し新生厦門の樞要な立場にある事を論破し之又盛況の如き拍手を受けて降壇した。次いで映畫に入り臺日社トーキーニュースの映畫の後待望の「明け行く厦門」を映寫したが觀衆一同は萩原海軍中佐乎田海軍少佐補導の下に展開された無敵海軍陸戰隊の勇猛果敢な敵前上陸の有樣から新生農隆の一路を辿る厦門の現況を手に取るが如くに見て何れも深い感銘を受けて同十時頃盛況裡に散會した。



「新生厦門紹介の映畫と講演の夕」（臺北市公會堂）

死藏金を愛國貯金に

〔新竹州臨時情報部〕 新竹州大溪郡番地キヤコバイ社蕃丁トーフイタイモ（三五）は先年父が死亡の際讓り受けた銀貨四百一圓八十錢を遺言の通死藏の所、之を聞知した受持警察官の熱心なる勸告に依り翻然と目覺め現下の事態に銃後國民の義務として斯る惡風を維持すべきにあらずと進んで右金額を全部愛國貯金をなすべく其の手續を執つたが本人の感想を聞くに次の通にして事變下に於ける蕃地高砂族の風景の一として眞に微笑しい次第である。

「父が死亡の直前如何なることがあつても此の金は絶對に出してはならぬと固く遺言があつたので亡父の遺志を繼いで共儘保管してゐましたが受持警察官の注意もあり斯る風習は斷然改めなければならぬと考へました。父も此の金を無駄に消費することを慮り此度遺言をしたことと思ひます、支那事變も愈々新らしい段階に入つ

て國民は益々堅忍持久を要する秋だと聞いて居りますから、せめて銃後國民の一人として此の金を國家の爲有意義に利用することは亡父も喜んで與れるものと氣が付きましたので愛國貯金をすることに決心したのです」。

臺中州に於ける金買收額

〔臺中州臨時情報部〕十二月二十四日までの州内臺灣銀行三支店の取扱累計は七百十九萬五千四百二十九圓となつてゐる。

彰化市民の白衣勇士招待慰安會

〔臺中州臨時情報部〕白衣の勇士に感激の意を捧ぐる爲め彰化市では十二月二日臺中〇〇病院に入院中の傷兵を招き八卦山新水源地で慰安會を催す豫定であつたが都合により市内官衙學校會社其他團體長を網羅する市民代表一行三十餘名が臺中に赴き同日午後一時より臺中座に病傷兵勇士を招待し映畫を上映しながら心からなる慰安會を開催した。

皇民化の促進と臺南州國風會

〔臺南州臨時情報部〕一般民衆の指導透撥に任ずべき本島人公務員の言動與措の物心兩方面に於ける皇民化の促進上其の民心に及ぼす影響眞に甚大なるに鑑み本州廳及附屬團體に奉職せる本島人公務員百九十七名は宏大無邊なる皇恩に感謝し協心戮力國民精神を昂揚し以て皇民化の促進に卒先活模範を垂示努力すべく今回臺南州國風會を組織し十一月二十二日午後四時より左記に依り州廳會議室に於て之が發會式を擧行し規約及申合事項等を決定愈々皇民化の徹底に邁進することとなるが申合事項左の如し。

一、會員は毎月二十八日の早朝神社參拜すること
二、國語未解家族の國語習得促進に努むること
三、會員の國語常用は勿論家族に對しても國語常用に努むること
四、内地式氏名の命名及改名に努むること
五、神前結婚を勵行すること
六、服裝は和服又は洋服を着用すること
七、葬祭式の嚴肅簡素を期し冗費の節約に努むること

アミ族春人の軍夫志願

〔花蓮港廳臨時情報部〕鳳林郡瀞社庄アミ族宮本榮次郎(十九)は同蕃社に於ける先覺者にして且つ中堅青年として社衆の善導に努め又豐濱國語講習所補助員として國語普及に專念し社衆の信用篤きものなるが事變以來皇軍の奮戰狀況の報導毎に自分も天晴日本國民と生れ乍らアミ族なるが故に兵役義務なきは殘念至極なればせめて軍夫になりと採用を願ひ君國の爲に身命を賭して忠誠を盡したいと岸ふ熱情溢るゝ軍夫志願書に血判を押捺して鳳林郡守宛歎願をした。郡守も本人の熱誠に感激時機の至るを待つ樣懇ろに說明歸社せしめた。

出征兵より出征戰死者へ弔慰金

〔花蓮港廳臨時情報部〕鳳林郡林田村出征兵士坂井巖上等兵外三名は過般某地に於て戰死せるが之を聞知せる同村出征兵士にして目下某地に於て奮戰活躍中の金子勞明上等兵、赤星勝正一等兵の兩君は早速熱情溢るゝ手紙に弔慰金を添へ戰地より林田在鄕軍人分會長宛郵送し以て遺家族を慰めたりと言ふ誠に其の深き愛鄕心情に對し村民に厚く賞讃されて居る。

奇篤な國防獻金

〔花蓮港廳臨時情報部〕玉里街玉里昭和ホテル内陳氏榮及林氏炎能の兩名は豫て死藏金貿却方を玉里郡報國會支部に依頼したる處此の程陳氏榮は十五圓林李氏炎能は十三圓三十六錢の代金を受取り玉里郡役所に至り其の内陳は五圓林は三圓三十六錢を何れも自發的に連戰連勝の皇軍に對し感謝すると共に僅か乍ら戰費の一端にと、心からなる國防獻金を申出係員一同を感激せしめた。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

海外情報

從軍通譯の感激

中支派遣軍〇〇部隊の從軍通譯として活躍せる李鏡煌より漢口陷落の奮鬪振りに關し次の如き通信を付つて從軍通譯に對し激勵世話をしたる本府評議會員許丙氏宛に來た。

（前略）私は先般選拔されて秋風訪れる江南の擴野に聖戰參加の一員として武漢を攻略し我等の皇軍將兵と行動を共にし去る十月五日本部を出發同六日蕪湖着同八日安慶着同九日九江着同十日武穴鎭着同十二日海口湖畔より敵前上陸を敢行同十七日大冶着同日石灰窰着、此の間、山に野に追擊又追擊敵は間斷なく追擊砲を浴びせかけて來たが幸ひ無事、全く天佑だ、殊に山中露營は寒かつた。我等は騎兵隊だが〇〇部隊の指揮下に突擊を試み大なる戰果を收めました、勿論夜襲も受けました、これより二十四日迄黃石港附近の殘敵掃蕩を終へてから同二十五日、大冶を出發同日鄂城を完全に占領、それより突進して一路漢口へ二十六日入城同二十八日漢陽入城同三十日武昌入城去る十一月二日武昌裕華紡織公司に於て嚴かに〇〇部隊の慰靈祭が擧行せられた。

輝かしき十一月三日の良辰を卜し歷史的漢口入城式が盛大に擧行せられた、且つ之れに參列するの光榮を得ましたことは誠に喜しい限りです、斯かる難攻不落と賴んで居た武漢三鎭も遂ひ我果敢神速なる皇軍の偉力に依り之れを陷落せしめたことは全く　陛下の御威光と我國の神々の加護、國民の熱誠の然らしめた賜だと信ずると共に吾等が斯樣な國に生れ合せたことは實に何とも言へない幸福で感謝と感激の涙を禁げないでは居られません、去る十一月九日芽出度晴の凱旋で本部へ無事歸着（後略）

香港英漢字紙嘯く

最近香港英漢字紙は深圳には第一五三師が駐屯し新警察局長も赴任し完全に支那の手にあり惠州、博羅も支那軍に奪回せられ增城も又近く奪回せらるべしと仰々しく報し又抗戰は漸く第二期に入り愈々本舞臺となるも日本は占領地並に國內に於て益々困難なる羽目に陷りつゝありとの蔣介石及發言人の談話を引用して氣勢を煽る一方對外關係に於ては日本外務大臣は英米兩大使との會談に關し日本は九國條約を破棄して支那に於ける通商上の獨占權を掌握せんとしつゝありとか重慶發ロイテル電報英米兩國政府は對日制裁を眞劍に考慮し始めたりとか尙十四日の大公報は日本軍の撤收は共の作戰にして決して油斷し得ずと警告し日本は西北及西南の國際交通路遮斷を目的として西江方面に增强しつゝあるを以て近く南支に於て大戰展開せらるべく且つ十二日南支派遣軍司令官の挑戰狀は甚だ驕慢なる言分なるも日本の焦慮を表せるものなりと論ずる等誠しやかな嘘入るを並べデマを放送の得手勝手な詭辯を弄し兒戲に等しき虛勢を張り、以て奧地愚民を欺き內外離れつゝある民心信用の維持に狂奔し實に笑止千萬といふより憐れむべき狼狽振である。

佛印報道對日愚論を吐く

當地新聞は武器通過問題を中心とし我方攻擊の論陣を張り「武器通過禁止は海防の繁榮を奪ひ支那側の非難を招くものなり」と論じ「日本政府は海南島占領とか雲南鐵道爆破」とか脅嚇的言辭を以て望みつゝあるも「佛國政府斷じて之に從ふべからざる」旨の巴里通信を轉載しつゝ國際正義を辨へず利己的詭辯を弄してゐる。

されど佛印政府當局は我方に對し通過禁止を忠實に履行し居ることを反覆言明し居る。實行の程度は兎も角既に本國政府より相當嚴重に訓令されてゐる一證左と見られるも他方海防の凋落を憂ひ支那人に同情してゐる前記の言辭を考ふるに武器通過禁止の實際的效果は誠に疑しきもので佛印政府の傀儡的態度は痛く世人に非難されてゐる。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一、避難民　各地より香港に避難し來る者は廣東攻略當時を以て最高とし、其後稍々緩和せるも、戰火一時、九龍の英租界たる深圳新界方面に及ばんとせる爲め同地の住民は一時に九龍、香港に殺到し來た。現在でも避難民は相當多數ある見込みにて、各街の廊下や道路野原に露宿せる者のみにても五萬餘人に達すると云はる。然るに之等避難民の救濟に付ては當地各官民團體でも相當宜傳され居るも只掛聲のみで本格的に出る者少い。

一、經濟界　廣東陷落後香港の支那內地向け輸出入は一切中斷され、十一月以來、貿易高は激減し來り、昨年に比べて一千萬元も減少したと云はる。爲めに當地經濟界は異常に恐慌をきたし、年末に近づくにつれ倒產者續出する者と見らる。

一、香港の商港としての價値　廣東占領後香港は全く孤島に陷り且つ當分珠江は解放の望み薄なれば香港は全く死の港と化した。廣東の解放される曙には貿易業者は當然直接廣東に集中するものと見られ、香港の商港としての價値は零に等しきものとなるべく、當地では早くも恐慌をきたしてゐるものがある。

南支攻略後の支那側貨物輸送路（香港）

日本に依り廣九鐵道が遮斷され、珠江水路も封鎖されたので西南輸移出入の貨物は勢ひ輸送路を改めねばならなくなつた、即ち

（イ）香港より佛領安南の海防に至り、同地から雲南鐵道を利用して雲南省昆明に至るライン

（ロ）溫州又は寧波より、浙贛鐵道を利用して、湖南省桂州に出て、同地から既成公路によつて國內各地へ通ずるライン

（ハ）外國船によつて、廣州灣に至り雷州より既成公路を利用して各地に至るライン

等がある其の內でも、雷州經由の貨物は最も多いから英商ジヤーデン、及びバターフイルド兩社は上海、汕頭、香港、海口、北海及海防等の直通航路を增設した。即ち兩社の江蘇號及順康號は十一月十八日夫々上海を出發し、浙江省の溫州及寧波、廣東省の雷州等に寄港し、遠く雲南省の陸關蒙自にも輸入貨物を供給したとの事である。

一、次に主要輸出品―茶及豚油等―は既に、中央財政部の貿易委員會に於てその搬出コースを研究した結果、雲南省の蒙自迄は既成公路を利用し、同地を經由して佛領安南の海防へ輸出し更に同地から外國船舶にて歐米各國へ輸出してゐる。

福建省政府の反蔣空氣濃厚

省主席陳儀は蔣政權の全面的敗戰に因る潰滅期遠からざる事及今後の抗戰の徒らに自國民衆を苦めるのみである事を悟り近來新事態に順應せんとする態度を執り省政府內の反蔣空氣頗る熾烈を極めて居ると云ふ。即ち省政府前任建設廳長徐學禹（現在省政府顧問）及綏靖公署の要人二名は秘かに反蔣計畫を進めて居たが蔣直系の嚴某に探知され本月九日遂に三名共閩海軍管區に監禁された事件があつた。本事件發生後陳主席は身邊の不安を感じ自己の行動を極秘に附すると共に一切の往訪客をも謝絕し每週一回の省政參議會の開會をも再三病氣と稱して延期して居る有樣で一般人士は之を機會として陳主席は新態度を表明するものでは無いかと推測して居る。

因に徐學禹は建設廳長在任中曾て省內を巡視して民衆の生活苦況を目擊し且抗戰に對する怨嗟の聲を聽き先般南洋華僑に賣るべき公債八百萬元募集の爲め親しく南洋へ渡航したがそれも一向成績が上らなかつたばかりでなく各地に於て華僑の冷遇に逢ひ省內に於ても人民が之を買はうとしなかつたので痛く蔣政權の信望失墜を感じ歸國後福建の大局を救はんが爲めに密かに反蔣運動を進めて居つたが蔣に先手打たれて免職されたのである。蔣は其の後任として腹臣の嚴家淦を派遣し嚴は着任早々建設廳內に於ける徐の部下要員をも馘首した。

然るに陳主席は徐の平素の行動が頗る我意を得たるに鑑み徐に同情を寄せて新たに省政府の顧問に聘用したのであるから今回の監禁は蔣としては主席をも牽制する策に出た事は勿論であるが陳主席としても事茲に至つ

た以上傍觀を許さぬ立場になつた譯である。加之福州東湖兵營に入營受訓中の民兵六百餘名は從來待遇不良並に厭戰思想よりして夙に逃亡風潮を惹起して居たが測らずも事件發生の翌十日未明又六十餘名の逃出者を出し同地の保安隊及駐屯軍第八十二師第五十二師が極力搜査の結果二十六名を逮捕し內六名を銃殺に附したと云ふが元來此種民兵强制徵發は厦門陷落當時蔣は日本軍の大陸閩南進出を憂慮の餘り新編民軍三箇師の徵兵を陳主席、陳祺、趙南、盧興榮、韓文英に下命し且各地に軍管區指揮部を設け一時相當緊張を呈して居つたが其後廣東、武漢陷落に依り一大打擊を蒙り全く進行不可能の狀態に陷つた次第である。

外國新聞の論調

二十三日附のブラウダ紙は「支那國民の獨立戰爭」と題する論說に於て次の如く述べてゐる。

支那は戰爭によつて多數の中心地と鐵道とを失つたが支那國民の獨立戰爭は今や新段階に入り之は遊擊戰術の著しき强化、民衆及び軍隊の武裝團結、並に反擊の組織的準備等によつて特徵づけられるであらう。日本軍の攻擊力は益々消耗しつゝある。日本軍は「日本軍が占領せりと公言してゐる地域」の後方及び「例へば廣東、湖南省、五臺山附近其他の如き」各戰線の双方に於て防勢を取ることを餘儀なくされてゐる。これは日本軍指揮官が莫大な犧牲を拂つて其軍隊に再三攻勢を强ひる可能性をなしてはゐないかゝる試みによつて、支那側の抵抗を破り戰爭を希望通りの結果に導くことの出來ないことは爭ふべからざることである。支那奥地の各省は新戰線へ發展しつゝあり、其の經濟的生命の復活は疑ひなく支那側の反擊に對する準備に於て特殊の役割を果すことであらう。これ等の土地は日本軍攻擊を意圖せる武裝民衆及び軍隊の新しい根據地である。現在日本は產業及び財政資源枯渴の前途に直面するが**日本國民の一致團結は侮り難い。**支那の前途には經濟的發展と抗日國民戰線の强化と擴大の見込みがある。支那民衆は眞正の民主々義勢力との關係を鞏固にし長期戰によつて日本軍に勝つべく準備してゐる。

華僑情報

在臺華僑より黃河決潰救恤金を送付す

在臺華僑は蔣政權の暴虐なる黃河決潰に因る無辜の罹災民に痛く同情し曩に全島に亘り募集中の黃河決潰罹災民救恤金を去る十一月二十八日新民總公會々長容建麟氏より募集金額三千二百餘圓に書面を添附し臺銀を通じて北京臨時政府委員長王克敏氏宛に送付したが其の原文左の如し。

謹啓陳者閣下益々御健勝の段奉賀候御芳名は夙に拜承居候得共未だ拜眉の榮を得ざるは遺憾の至りに有之候惟ふに支那事變は既に一年有餘に亘り蔣は百戰百敗全國の重要地域を喪失したるに拘らず今又盲目的抗戰を持續して國民に塗炭の苦を嘗めしめつゝあるは痛恨に堪へざる所に有之候然るに目下彼は奥地へ逋入し其の崩潰期は目睫に迫るものなるが一面我が新政府は日支親善を理想として着々東洋恒久の平和を確立し中國の民衆を救助せらるゝは弊會一同の深く感銘する所に有之候最近新聞の報道に據れば蔣軍は敗走に際し大黃河の堤防を決潰し數百萬に上る無辜なる同胞は爲めに慘澹たる災害を蒙りたるが斯くの如きは天人の俱に許さざる行爲と云ふ可く幸に我が新政府及友邦皇軍に於て直ちに之が救濟を行はれたるは弊會の感謝する處に有之候茲に弊會は正義日本下に黃河罹災同胞の爲めに救恤金を募集せる結果現金三千二百三十七圓三十錢を得るを以て本日右金額に相當する臺灣銀行送金爲替一葉を同封送付致候條何卒御檢收の上、之を現地の日本軍宣撫班へ可然救濟取計方御轉送相煩し度存じ候本件救恤金は至極少額にして單に弊會の誠意の一端を表示するに過ぎざるも何分御諒察相成今後共倍

舊の御指導を賜らるゝ樣御願申上候　敬具

在北福州及興化華僑厦門駐屯軍に慰問金

十二月十九日市公會堂に於て臺日社主催に係る「新生厦門紹介の夕」は皇軍の嚴然たる保護下にある新生厦門の現況に觸れ聽衆に多大の感銘を與へたが當日來場してゐた在臺の該地出身の華僑連はこの講演並に映畫に依つて東亞新秩序建設へ邁進しつゝある故郷の健在なる姿に接して非常に感動を受けその感激の萬分の一にと二十二日在北福州及興化出身華僑代表郭尙清、陳賀源、方傳超鄭開南氏等は海軍武官室を訪ね厦門駐在の海軍に慰問金として金六百圓を提出した。

華僑が國防獻金

斗六街華僑新民公會では平和な臺灣で安居樂業し得るに感謝し赤誠の萬一を現すべく會員申合の上金百九十六圓を國防獻金として其の筋へ提出したとの由。

瑞芳鑛山華僑等の氣勢

黄金花咲く基隆郡瑞芳鑛山で働いて居る臺灣鑛業華僑從業員並に同鑛山で商賣をやつてゐる華僑三百五十餘名は今迄基隆華僑新民公會の會員として滿足してゐたが輓近蔣政權の沒落の現狀に鑑み更に一段と會員相互の相絡扶助を強化し倒蔣運動に邁進すべく獨立の計畫を樹てつゝあつたが愈々諸準備も整つたので去る二十一日午後六時より臺陽鑛業第二倶樂部に於て創立總會並に九分華僑新民公會發會式を擧行した。

參集せる華僑は三百五十餘名臺北から州外事課長代理基隆から須江郡守憲兵分隊長代理金丸警察課長等が來賓として臨席し定刻に至り先づ創立總會を開催し原案を可決して發會式に移り　皇居遙拜、日の丸國旗並に五色旗に對し敬禮、續いて皇軍の武運長久及び戰沒將兵に對する一分間の默禱を捧げて開會辭、經過報告、會長挨拶、決議文朗讀來賓祝辭等型の如く行はれ午後十時半に至り大日本帝國、臨時維新政府の萬歲を三唱し盛會裡に閉會したと、

南洋華僑への指導、今は絶好の機會

東京に於ける臺灣倶樂部は二十一日正午丸の内海上ビル中央亭に於て忘年會を兼ね午餐會を開き、今般歐米視察より歸朝した木下乙二氏は歐米視察談を試み「英米の蔣介石援助の内容とする處は蔣の所有する財産力を限度とするものである。英・米・佛の現狀維持派に對し日獨伊の國際正義派の主張は正當なるものなることを世界的に認識されつゝある。之と同時に東亞の建設は日本の使命であり、日本を措いて他に適當なる國はないことも世界に認識されて來た、この際この趣旨を徹底せねばならぬ、南洋華僑は支那軍の暴戾に對して恨みを持つてゐると同時に日本軍隊に對し非常なる信頼を懷いて來た、從つて彼等は近來日本人に對し非常に好意を寄せつゝある。此の際南進政策の本據たる臺灣の人達がその前進地區に於て彼等を指導すると同時に南支南洋方面に對し經濟援助企業その他諸般の施設を爲すことは逸すべからざる機會である」と述べた。

南洋華僑我が好意を曲解（新嘉坡）

南洋各地に散在せる廣東省惠州人（惠陽縣）が組織した處の惠州同僑救鄕會では故鄕に戰禍が及び鄕里に難民少からざると聞き過般來代表を歸國せしめて救濟すべく劃策して居るとの事を聞いた我が總領事館では同地は戰區であるに鑑み特に彼等の歸國につき種々便利を與ふるべく斡旋方同會に申入れた處彼等は之を以て利慾するものなりとなし却つて我が好意を曲解して新聞に事實と相反する記事を掲載せしめて居る。

華僑協會厦門を重視す

北京華僑協會では十一月成立以來一般華僑に新事態を認識さすべく熱心に工作中なるが華僑と厦門の密接なる關係を特に重視し近く協會幹部を厦門に派遣し華僑協會厦門分會の如き機關を設立して各方面に亙り積極的に活動するこの由。

アジア歴史資料センター

十二月五日

1　**江門占領**

江門は澳門より西江を遡航すること三十五哩人口十萬を有する開港場にして、又新寧鐵道の起點にして珠江デルタ地區の一重要地にして、又富裕華僑の出身地として有名なり。

我が海軍部隊は陸海空協力の下に有力なる敵を撃退夕刻之を完全に占領せり。

2　空軍南支活躍

【韶關】【高要】【柳州】—大規空襲、敵の軍司令部其他軍事施設を爆撃。

3　大湖東南地區敵第三戦區司令劉建緒の麾下遊撃隊又半土匪化せる程萬麾下の一部隊合計二千五百餘は糧食と戦費に窮し歸順し來れり。

十二月六日

1.　光州、商城、羅山、英山、黄陂一帯の敵敗殘兵及支那民衆に對し宣撫の傳單を撒布せり。

2.　安民治國を目指す中國安清同盟會は上海に於て盛大なる成立式を擧行せり。

十二月七日

1.　**運城**（山東省南部）の西北方二十五粁三路寺附近に蟠踞せる匪賊集團部隊を南北より包圍攻撃殲滅戦を展開赫々たる戦果を收めたり。

2.　空軍の活躍

【貴平】【貴縣】（廣西省）—敵軍用舟艇五十餘隻を爆撃十數隻を爆破又軍事施設を爆撃

【清遠】（廣東）—附近北江上に於て敵砲艦一隻及小型軍用船一隻を爆破

十二月八日

1,　空軍の活躍

【樂昌】（粵漢線）—停車中の機關車二貨車十五輛を爆破、線路を數箇所に於て切斷

【英德】【清遠】—北江上の敵軍用舟艇數隻を粉碎

2.　**有田外相は英米大使と會談東亞の新時態展開への**

我が對支根本方針に就き闡明する所ありたり。

3.　**大場鎮表忠塔除幕式並に招魂祭は莊嚴盛大に擧行せられたり。**

4.　内臺連絡航空ダクラス富士號遭難せり。

十二月九日

1.　**北支方面最高指揮官に杉山陸軍大將新補せられたり。**

2.　空軍の活躍

【岳江】（湖南省）【新墻】（岳州南方）—道路上を往來する敵部隊及集結部隊を猛烈に爆撃潰滅

【郴縣】（湖南省粵漢線）—南方に於て敵輸送機關を猛爆、機關車七輛客車貨車約六十輛及軍事重要施設を爆破

【德江口】（英德南方二十粁）—粵漢線を南下中の列車を猛爆潰滅

【全縣】（廣西省東北部）—倉庫群其他軍事施設爆撃

【水口墟】（西江高要上流）—小型軍用船艇約三十隻を襲撃その大部を大破粉碎せり

3.　チエニス問題をめぐりて伊佛關係愈險惡化せる模様なり。

十二月十日

1.　武昌、漢陽治安維持會成立式を盛大に擧行せり。

2.　暗黑の廣東に本日より點燈せられたり。

十二月十二日

1.　**寺内前北支方面最高指揮官は參内奏上せり。**

2.　**我が南支派遣軍最高指揮官は蔣介石に對し次の如き挑戦狀を發せり。**

「寶刀を携げてこゝに集まる我が軍三十萬英氣新に陣裂を羽ばたかんとす、蔣將軍にして名譽を重んずる武將ならば速かに百萬の大兵を率ゐ邀へ撃て、時は將に嶺南の沃野に秋色深く軍を進め颯爽の風を頽りて決戦に見えん、これ武將の本懐に非ずしてなんぞ、長期抗戦と稱し徒らに背を見するは卑怯の誹りを招くのみ、いつの日にか武將たるの面目を保持し得んや、早く來り會して雌雄を決せよ。」

3.　**江蘇、安徽、江南地區の遊撃隊及敗殘兵討伐部隊は**十二日迄に敵遺棄死體四七六、鹵獲品多數の外約三百餘名を歸順せしめ輝しき戦果を收め地方の治安は一段と明朗化せり。

十二月十三日

1.　空軍の活躍

【延安】【延川】—共産軍の軍事要所を覆滅更に宣傳ビラを撒布せり

【三水】【陽江】（澳門の西方）—附近を偵察し倉庫及軍需品輸送の舟艇を爆撃せり

（以下次號）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

臺灣時局日誌　昭和十三年度

一月

一　日
・四方拜
・戰勝の新春を祝し各地で新年交禮會盛大に擧行
三　日
・臺北市內各地區防衛團の市尹視閱式擧行
四　日
・府正廳に於て始政式行はる
八　日
・臺北、臺南、屏東の陸軍始觀兵式擧行
・永田航空少佐以下九勇士の遺骨凱旋（九日告別式、十日屏東市々葬）
・臺北市出征軍人後援會主催の遺家族慰安會開催
九　日
・佐藤、高橋南部隊六十六勇士白衣の凱旋
十　日
・本年度入營兵來臺
・高雄、上海線航路復活し第一船長沙丸出港
十一　日
・高雄州より三十五萬圓を海軍に獻金
十三　日
・皇后陛下御下賜の御歌と御菓子到著し、臺北市戰死者遺家族に石井市尹より夫々傳達さる。
・光榮の献穀田は臺中州大屯郡北屯庄に指定され地鎮、播種祭嚴修
十五　日
・賀陽宮恒憲王殿下には空路御來臺遊ばさる（十六日御薨去）
・全島官廳防空事務打合會開催
・國民精神總動員本部募集の時局歌謠發表會開催
・新竹州竹東郡の鄭紹輝氏臺灣最初の献納牛を申出ず
・新竹州防空委員打合會
十　六　日
・支那事變戰没遺手追悼臺灣選拔ラクビー大會擧行
十　八　日
・馬公要港部海軍觀兵式
・森岡總務長官議會出席の爲上京
十　九　日
・私立中等學校の設立、認可標準を定め文敎局發表。
二十一　日
・佐藤、高橋、中島各部隊の勇士の遺骨無言の凱旋
二十二　日
・大日本國防婦人會高雄分會結團式
二十三　日
・臺南國防議會航空結團式擧行
二十四　日
・人造石油事業法の一部本島に施行
二十五　日
・遺羅の二軍艦廻航の途次基隆に寄港
・陸軍病院土俵に於て體協主催の慰問相撲擧行
二十六　日
・佐藤部隊鈴木少佐以下の遺骨凱旋
・臺北州外事課新設
二十八　日
・皇后陛下より應召軍人軍屬子弟に對する御下賜品傳達式行はる
二十九　日
・昭和十二年產臺灣米の農林省買上五二、五四二袋發表
・新設農林學校は桃園設置に決定

二月

一　日
・新合祀者切田太郎氏外十七氏を合祀する芝山巖祭嚴修
・駐臺郭總領事一行香港丸にて本島を引揚ぐ
・學校身體檢査規則公布
三　日
・天皇陛下御不例の御趣につき小林總督より官內大臣宛天機來伺の電報を來呈す
・フアーバー號救助關係者を招待アメリカ領事館謝晩餐會開催
五　日
・臺灣專賣局內地移出入品、外國品の煙草値上斷行
・護國の英靈に對する臺北市彰臺南市彰、高雄市彰、嘉義市彰執行
六　日
・百五十萬圓の低利資金の島內割當決定（金融課發表）
・護國の英靈を祀る新竹市彰臺中市彰執行
七　日
・新政權支持の臺灣華僑新民總公會發會式擧行。
十一　日
・憲法發布五十年記念日に當り恩赦の大令を下し給ふに付小林總督諭告を發せり
・全島各地の建國祭盛大に擧行
・全島高砂族中の模範人物二十四名に理蕃尊行證を授く
・北港の媽祖廟金銀紙の燒却廢止
十　五　日
・愛國公債第二回賣出し
十　六　日
・今議會提出の臨時增稅案に就き督府方針發表
・臨時資金調製法の臺灣事業資金調整標準財務局より發表
十　七　日
・臺灣神社初め各神社で新年祭嚴修
・國民精神總動員第二次强調週間の敎化大會開催
二十二　日
・專賣局では國策に順應し工業鹽の大增產計畫の趣旨を發表
二十三　日
・臺北、新竹州下に敵機來襲し盲爆彈を投下少數の死傷者を出す
二十四　日
・防空警戒發令（午後十二時三分より午後二時迄）
・正午のサイレンは當分の間全島的に吹鳴禁止
・公民科敎科書改訂問題に就き督府で敎科書調査會議開かる
二十六　日
・結核豫防法施行規則公布され警務局長談話を發表
・全島警察職合演習行はれ二十七日府前にて閱兵式擧行
二十八　日
・敵機盲爆の遭難死者合同葬執行

三月

一　日
・稅制記念日、各地に諸種の行事行はる
・花蓮港米穀移出港の通水式擧行
四　日
・高橋部隊名譽の戰死者江藤中尉以下の〇〇柱に對する告別式執行
八　日
・全島中聯有識者より成る時局克服懇談會
・鐵道ホテルに於て開催
・臺灣在住半島人が輕機關銃二挺を献納
十　日
・陸軍記念日各地で演習其他の行事行はる
・梧棲築港計畫に就き道路港灣課發表
十一　日
・全島水利大會開催
・寺廟改葬座談會花蓮港にて開催
十二　日
・棉の展覽會臺北市公會堂にて開催
十三　日
・臺中、臺南兩州に流膿發生
・竹南郡獅頭山勸化堂に岩石崩潰し五名の重輕傷者を出す
十四　日
・臺中州東勢、明治溫泉間自動車道路完成し東勢にて開通式盛大に擧行
・高雄州東港線の起工式嚴修
十六　日
・臺灣農會令・臺灣畜產會令施行規則府令を以て公布

アジア経済研究センター
Japan Center for Asian Economic Studies
http://www.jcer.or.jp/

・總督府主催防空事務連絡打合會開催
・臺南馬公間定期郵便機不時著陸縱士、機關士殉職
十七日
・溪州、東港間鐵道起工式嚴修
十八日
・江南戰線で名譽の負傷をせし白衣の勇士凱旋
二十三日
・全島中等學校入試一齊に行はる
・臨時檢出入許可規則一部追加改正
・安平港口改修工事竣工式
二十四日
・工業醫生産會社(南日本鹽業株式會社)設立主旨につき長官より發表
二十五日
・府本年度農業移民三〇九戸の許可決定
二十六日
・江藤中尉以下〇柱の護國の英靈に對する臺北市葬嚴修
二十九日
・臺灣畜産興業會社設立
・臺灣善隣新民總公會より中國維新政府へ頌祝文を發す
三十日
・文教局主催全島軍事後援事務打合會開催
・臺北市主催商工展覽會開催

四月

一日
・臺灣支那事變特別稅令其他增稅關係諸法令公布施行
・內臺航空、島內航空日發となり改正ダイヤ發表
・未成年者禁酒禁煙法實施
・松山庄臺北市に編入
・臺北瀧院に三月三十一日廢され臺北帝大附屬病院として更生し醫院長以下の人事發令
・臺銀マニラ支店設立、比島政府より認可
・上海近郊で軍需蔬菜栽培の農業義勇團募集要項發表
十一日
・東久邇中將宮殿下には四月三日陸軍機にて御著臺、本島隷下部隊の御檢閲並に御視察を終へさせられ本日無事御離臺遊ばさる
・原生省簡易保險積立金運用委員會に於て臺灣に對する貸付內定す
・國民使節石井菊次郎子歐洲よりの歸途來臺
十二日
・內海高雄州知事一行高雄港視察中、モーターボートの發火により遭難、殉職者一名を出す
・臺中州員林郡の慰問煙草九萬箇の獻納式擧行
・訪日比島學生團來臺
十五日
・第三回事變公債賣出し即刻賣切れとなる
十六日
・皇太子殿下行啓第十五回記念日に當り總督より天機奉に御機嫌奉伺電報來呈
・海軍觀兵式臺北練兵場にて擧行
・議會出席中の森岡長官歸任
十七日
・第一回少年保護記念日施行
・臺北佛教各宗聯合會の支那事變戰死英靈追悼法會擧行
・嘉義郡溪口庄三塗溪の故北白川宮殿下御遺跡記念碑除幕式擧行
二十日
・臺灣臨時地方稅措置に關する府令公布
二十一日
・全島地方長官會議(府正廳三日間)
・基隆港內解船の一齊檢査行はる
二十三日
・臺北縣地鎮祭
・馬公要港部廳舍落成式
二十四日
・揮發油及アルコール混用法臺灣に施行の勅令公布
・臺北州國防議會より〇〇陸軍病院娯樂室獻納
二十五日

・靖國神社臨時大祭につき各地に於て遙拜式擧行
・臺灣農業義勇團々旗授與式擧行(翌日出發)
二十九日
・天長節
三十日
・建功神社例祭

五月

一日
・揮發油及重油販賣取締規則府令公布
・郵便規則改正され單一規則制定
二日
・練習艦隊磐手八雲基隆入港
三日
・澎湖島初巡視の小林總督馬公著
・熊本縣より農業移民六十二家族來臺
五日
・子供日・各地に於いて優良兒選奬
・玉里郡に於て無屆四十七寺廟の佛畫像燒却祭擧行
六日
・澎湖初巡視の總督歸北
七日
・皇后陛下の御下賜品傳達式臺北市に於て擧行
九日
・島民獻納の報國號飛行機竝に兵器の命名式擧行はる
・桃園愛國女子衛生看護團全島に魁けて結團
十日
・佐藤、高橋中島各部隊白衣の勇士凱旋
十一日
・臨時部局長會議開催
・新竹州防諜協會發會式
十五日
・嘉義郡下百粁放送局落工
十六日
・臺北市防諜聯盟結成式
十七日
・從廉選問初まる
・臺北帝大開學記念式盛大に擧行
十八日
・小林總督上京
・佐藤、高橋部隊白衣の勇士凱旋
・グライダー高等飛行大會臺中に開催
十九日
・國民貯蓄奬勵運動協議會開催
・皮革資源に關し各州內務部長庶務課長會議開かる
・臺灣山林大會及び林業資源展開かる
・全島乳兒選奬會入賞者發表
・遙山島沖にて發動機船漁獲し遊覽團員二十餘名遭難
・厦門避難民へ食料品を滿載し照南丸出帆
二十日
・徐州攻略祝賀旗行列及提灯行列全島一齊に擧行
・熱帶林業大會協議會開催
二十一日
・全島中等學校英語雄辯大會開催
二十二日
・本島十二年度末總人口五百六十萬九千四十二人(官房調査課發表)
二十七日
・海軍記念日全島各地で擧行
・國防體育大會圓山にて盛大に擧行
二十八日
・臺東街敷島村にて十三年度移民の開村式擧行
・全臺灣支部對抗彙內地派遣選手團選陸上競技會開催
二十九日
・水産奬勵規則公布
・佐藤、高橋部隊の英靈凱旋
三十日
・防諜協會新竹支部發會式
三十一日
・澳底の御上陸記念祭執行
・交通局官制改正に伴ふ異動發令
・佐藤高橋部隊の白衣の勇士凱旋
・臺中州北斗郡の新移民村は鹿島村と命名され入村式擧行

六月

アジア経済研究所図書館
Japan Institute of Asian Economic Studies
http://www.ide.go.jp

一　日
・官廳の執務時間午後二時迄と決定通達
・鮎漁解禁
・内鮮滿、臺灣間の小荷物連帶運輸改善擴張され實施
・臺南州虎尾郡榮村の移民入村宣誓式擧行

四　日
・體育施設解放に就き使用要項通達
・臺灣學生對抗陸上競技大會
・臺中、臺南、高雄、屏東各市にて護國の英靈の市葬嚴修
・臺灣行進曲の當選發表
・臺灣の水牛四百九十九頭上海に陸揚

六　日
・島民の獻金七十四萬八千六百十圓は臺灣軍司令部を通じ陸軍省に納入
・下淡水溪治水工事竣工式
・臺銀廈門支店開店

九　日
・廈門引揚民の復歸許可決定し外務部長談を發表
・暹羅の潜水艦四隻廻航の途中基隆入港
・關子嶺溫泉の湧泉止る

十　日
・時の記念日
・石油消費節約に關し長官名にて通牒を發す
・臺北・新竹・彰化各市に於て市葬嚴修
・臺灣移出米管理案に關し上京中の小林總督記者團に談話發表
・米穀檢査所、植物檢査所合同廳舍落成式

十一日
・豫告無しの防空訓練實施に就き督府防空課より發表

十二日
・臺中市に於て護國の英靈の市葬嚴修
・基隆市葬嚴修
・臺南新竹間の傳書鳩競翔大會擧行

十三日
・夏休暇利用に因る全島青少年勤勞作業の團體訓練に就き長官名通牒を發す

十四日
・臺北市地區一圓の防空訓練突如實施
・石油制限に關し全島當業者協議會開かる
・第一回廈門復歸者二百九名基隆出帆
・澎湖廳勢調査委員會開催

十五日
・小林總督歸任
・第四回事變公債全島一齊に賣出さる
・警察會議開かる
・南興公司設立され社長以下役員任命

十六日
・臺灣總督府美術審査委員會規定竝に臺灣美術展覽會規定公布
・關子嶺溫泉百五十餘時間振りに再び湧泉

十七日
・第四十三回始政記念日式典擧行

二十日
・全島聯合青年團結團式擧行
・澎湖廳勢實地調査隊澎湖に向ふ（七月四日歸北）

二十一日
・臺灣家屋稅創設要綱發表

二十二日
・同仁會總督の中支臨時防疫本部南京支部長小林福州博愛醫院長以下三十名の醫療班出發す

二十四日
・竹田宮大妃殿下東京御發臺灣に向はせらる
・島内定期航空東線就航のエンヴォイ旅客機宜蘭にて墜落操縱士乘客遭難

二十五日
・臺南市にて故北白川宮能久親王御舍營所記念碑地鎭祭執行
・臺北稻荷神社の鄕社昇格第一回例祭式典
・癩豫防日
・高雄市に於て無警告の防空訓練を實施

二十七日
・竹田宮故恒久王妃昌子内親王殿下には皇后陛下の御思召を以て今次事變による傷病兵御慰問竝に銃後狀況御視察の御任務を帶びさせられ富士丸にて御來臺遊ばさる
・臺灣鋼材配給會社創立

二十八日
・暹羅國砲艦アユチュア號基隆に寄航
・臺拓第二回定時株主總會

三十日
・南日本鹽業會社創立

七　月

一　日
・揮發油、アルコール混入及石油消費規正實施
・島内定期航空循環ダイヤ實施
・廈門への自由渡航許可

二　日
・府評議會員更新發令

三　日
・黃麻輸移出許可規則公布實施

五　日
・臺北高商生勤勞奉仕のトップを切る

六　日
・鐵鑛配給統制規則の府令公布
・南支方面進出者養成講習會開會式
・臺北市勸業課で食料品雜貨類の小賣値段を設定市内市場に實施を命ず

七　日
・支那事變一周年記念日、全島各地に於て慰靈祭其他各種行事行はる
・全臺灣學校の皇軍慰問袋第一回分發送手續を執る
・埔里地方に十餘年振りに降雹あり

十　日
・竹田宮大妃殿下には御用務を終へさせられ高砂丸に御乘船御離臺遊ばさる

十一日
・第三回全島博物館協議會
・臺北市主催第二回青年總動員訓練開始

十三日
・竹田宮大妃殿下御恙なく御歸京遊ばさる
・銑鐵鑄物の製造制限に關する件府令を以て公布實施
・小林總督山線開通式參列の爲臺中州下に出張
・白衣の勇士凱旋

十四日
・山線復舊工事竣工式

十五日
・皮革使用制限規則及び皮革製品販賣價格府令を以て公布實施
・山線開通の爲局鐵列車時刻改正
・〇〇〇部隊の戰沒將士精叢祭圓山の陸軍墓地にて執行
・花蓮港廳下一萬尺以上の無名山五十三峰に藤村廳長等命名

十六日
・物資運用統制打合の爲森岡長官上京

十八日
・新竹地方法院開廳式

二十一日
・純綿絲臺灣への配給割當決定

二十二日
・鐵鋼工作物築造規則除外規定告示

二十三日
・第十三回全臺灣水上競技選手權大會

二十四日
・暴利取締規則改正府令公布

二十五日
・官民協同第二回目の皇軍將士への慰問金公募

二十六日
・臺南州北港神社鄕社に昇格
・本島の軍需產業關係者九氏に對し古莊軍司令官より謝旨傳達さる

二十七日
・輸出補償法施行規則改正府令公布

二十八日
・支那事變第二回論功行賞發表
・臺灣競馬令施行規則公布實施

三十日
・武勳の値賀中將歸還
・臺灣行進曲選定發表

八　月

一　日
・警務局主催の經濟警察講習會開かる

二　日
・新竹州下は連日豪雨の爲被害甚しく縱貫線不通となる

・日比學生會議に出席の内地學生代表一行
・來臺
三　日
・對岸及關門地方のコレラ流行に督府にては各州の通牒防遏陣を張る
・上陳許可證僞造犯人一味基隆郡警察課に檢擧
四　日
・臺灣氣象臺官制公布
六　日
・臺灣移出米管理案に就き當局論を發表
・第十三回全臺灣女子中等庭球大會に靜修高女優勝す
八　日
・全島一齊にラジオ體操の會始まる（十日迄）
十　日
・新任高雄要塞司令官林義秀大佐着任
・臺東大武溪の新橋竣工す
十二　日
・佐藤部隊長中支戰線より歸還
十三　日
・大日本傷痍軍人會臺北支部發會式擧行
・上海事變勃發一周年に當り臺北市防空團の視閲式擧行島内各地に於て防空演習實施
・全國中等野球大會出場の臺北一中大分商業に敗る
・臨時資金調製法施行令並同法施行細則中一部改正實施
十六　日
・戰死者遺族に對する祭祀料傳達式各地にて行はる
十九　日
・高橋部隊長中支戰線より歸還
・祝祭日に常裝服差支なき旨督府より内訓發せらる
・第一回全島産業組合指導員研究會開催
三十　日
・臺灣農會及臺灣畜産會創立
・海上警報發せらる
・南洋礦鐵株式會社高雄に創立パラセル群島の礦鐵採取に着手せり
二十一　日
・臺中州新高郡醫藥の移住宣傳式擧行
二十二　日
・第五回支那事變公債全島にて賣出
・經濟戰强調週間全島一齊に開始
二十五　日
・府評議員懇談會開催
二十六　日
・臺灣聯合少年團結團式竹下海軍大將臨場の下に新店溪畔にて擧行
二十八　日
・全國學童ラヂオ水泳大會擧行
三十九　日
・愛國婦人會全島支部長會議開催
三十一　日
・臺北自動車運輸株式會社創立
・基隆上水道の時間給水斷行

九　月

一　日
・兵役法施行規則中一部改正され第二補充兵の届出實施
・大日本國防婦人會臺灣本部結成發會式
・生魚移入禁止令解除
・臺北南署には全島に率先し花柳界の三業分立を實施
三　日
・本年度本島一期米實收高四百八十八萬五千五百三十七石（府米穀課發表）
・本島産褐鐵鑛の電氣製鍊法に中研成功す
・第十四回全島支部對抗軟式庭球大會開催
四　日
・鶴田少佐以下の英靈に對する屏東市碧殿修
・臺北州青年團發會開催
・高雄州職員高雄港橫斷遠泳開催
七　日
・花蓮港を中心に近來稀有の地震あり
八　日
・臺灣重要鑛産物增産令施行規則府令公布
十二　日
・全島一齊に經濟專務警察官を動員し綿布の檢査行はる
十三　日

・物品販賣價格取締規則公布
・司法保護記念日
十　五　日
・學校卒業者使用制限令施行規則公布即日實施
・蘭陽方面は十三日來の豪雨に相當の被害あり
十六　日
・小林總督上京
・新竹州青年修練場開場式擧行
十七　日
・第十回全臺灣男女中等學校水上競技大會開催
・第十三回全島庭球選手權大會開催
十八　日
・滿洲事變記念日各社に新願祭其他の行事行はる
二十三　日
・臺中州國防議會主催の時局展覽會開かる
二十四　日
・第十八回全島中學校武道大會開催
二十五　日
・第五回全臺灣高專劍道選手權大會開催
二十七　日
・暴風警報發せらる
・平田部隊竹内少佐以下英靈合同告別式殿修
二十八　日
・官廳執務時間改正（十月一日より實施）
・故竹内少佐以下の臺南、嘉義、高雄各市葬殿修
二十九　日
・戰死者遺家族に對する皇后陛下の御下賜品傳達式行はる

十　月

一　日
・JFAKより馬來語放送を開始す
・第九回全島學生庭球選手權大會開催さる
二　日
・故小野少佐以下の藤重、後藤兩部隊合同告別式殿修
・基隆輕鐵經營の九份インクランにて乘客滿載の臺車七輛崖下に轉落し死傷者四十八名を出す
三　日
・故少野少佐以下の臺北、新竹、臺中各市葬殿修
・花蓮港アルミニウム工場地鎮祭行はる
五　日
・銃後後援强化週間全島一齊に實施
・第五回支那事變貯蓄債券賣出
・基隆彰化市葬殿修
・八日臺灣神社建功神社新願祭殿修
・臺南市にて故北白川宮能久親王御會盟記念碑の除幕式擧行さる
・第二回全島學生庭球選手權大會開催
九　日
・全國中等相撲臺灣豫選大會開催
十　日
・殖産局主催全島内務部長會議開催
・督府構内に職員の保健相談所開設
十一　日
・臺灣重要産業調整委員會特別委員一行來臺
十二　日
・營業標にて貨車列車脱線しダイヤ混亂す
・比島大學第一回交換教授ベルナベアフリカ氏來臺
十四　日
・督府十四年度豫算案の財務局査定終る
十五　日
・臺北工業學校創立二十五周年記念工業展同校に開かる
・第七回全臺灣女子中等學校對抗陸上競技大會開催
十六　日
・第十九回全臺灣陸上競技選手權大會開催
十七　日
・第一回臺展の入選發表
・基隆郡の瑞陽鐵業石底炭坑にてガス爆發採炭夫十三名死傷す
十八　日
・東臺灣電力會社設立趣旨に就き泊交通局總長談話を發表

アジア経済研究所図書館
Japan Center for Asian Legal Studies
http://www.jclas.org/

十九日
・靖國神社臨時大祭、臺北新公園に二慰靈祭執行
二十一日
・支那事變第六回論功行賞發表
・臺灣重要產業調整委員會第三回特別委員會開かる
二十二日
・廣東陷落祝賀旗行列、提燈行列全島一齊に擧行
・第一回臺展一般に公開
・第十三回臺灣全島產業組合大會臺南市に開催
・新高附近の高山に初降雪あり
二十六日
・秩父宮殿下には廣東作戰に武勳を建てさせられ本朝臺灣より空路御歸還遊ばさる
二十七日
・臺灣總務長官槇田財務局長上京
・鄭社事件九周年忌埔里にて執行
二十八日
・臺灣神社祭戰修、武漢三鎭陷落祝賀旗行列、提灯行列盛大に擧行
・戰捷祝賀式全島各地に擧行
・ダクラス愛宕號に依り臺北廣東間の試驗飛行に成功す
三十日
・全島教育功勞者表彰式正總其他各地に於て行はる

十一月

一日
・輸移出農產物纏詰檢査規則公布實施さる
・第四回全島博物館週間初まる
三日
・明治節
・軍艦旗制定五十周年記念祝賀式各地にて擧行、總督、長官より南支派遣軍に慰問品送らる、又臺灣愛婦より慰問袋一萬個を送る
五日
・神宮大麻頒布始來告祭並頒布式府正廳に擧行
・澎湖本島、白沙島間の石堤竣工…開通式擧行
六日
・臺南、馬公間定期航空旅客輸送開始
七日
・國民精神作興週間實施
・臺灣米穀管理答申案重產委員會總會にて原案通り可決す
・日本青少年獨逸派遣團一行基隆に寄港
十日
・皇太后陛下より本島罹救團體に對し御內帑金御下賜の御沙汰を拜す
十四日
・基隆鄂八堵炭坑にてガス爆發し十八名の死者を出す
十五日
・臺北州下各蕃地の高山に降雪あり
十五日
・石油資源開發法臺灣に施行

昭和十三年十二月二十九日印刷
昭和十四年一月一日發行　（月三回發行）

臺灣總督府臨時情報部

印刷人　臺北市榮町二丁目十五番地　加藤豐吉
印刷所　臺北市京町一丁目四十三番地　小塚本店印刷工場

部報 昭和十二年九月二十日第三種郵便物認可
昭和十四年一月十一日印刷納本 (毎月一日、十一日、廿一日發行) 第四

海運報國

船舶賣買仲立業
船舶傭船仲立業
內外各國行貨物取扱業
帝國海上火災保險株式會社代理店

海運業 フヂエ商店

店主 藤江孝
臺北市本町壹丁目四拾參番地

營業所 臺灣貯蓄銀行ビルディング三階

電話 七五八二番 / 五二二一番 (夜間用)三八五一番
受電略號 (和文)タイホク、フヂエ (歐文)HUZIE TAIHOKU

臺灣總督府臨時情報部部報
廣告一手取扱店